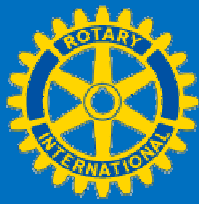


安城ロータリークラブ



週報

【 No.627 2014/3 第1例会 】

例会日: 毎週金曜日

例会場: 碧海信用金庫本店3F

安城市御幸本町15-1

TEL: 0566-75-8866

FAX: 0566-74-5678

Email: anjo-rc19580206@katch.ne.jp

HP: <http://www.anjo-rc.org>

第2768回例会

2014年3月7日(金) 12:30~13:30

司会者: 辻 隆士君

職場例会

ゲスト及びビジター: 愛知県立安城農林高等学校教頭 平松幸伸様



2013-2014年度RIテーマ:

「ロータリーを實踐し、みんなに豊かな人生を」

安城ロータリークラブ会長方針:

「充実したロータリーライフを楽しもう。」

■会長: 都築 雅人

■幹事: 神谷 研

■クラブ会報: 青山竜也・川合昭道・加藤英明

■創立日: S33年1月10日

■RI加盟認証日: S33年2月6日

■会長挨拶

都築 雅人会長

過去の職場例会

2012~2013年度(大見年度)
2011~2012年度(沓名年度)
2010~2011年度(大嶽年度)
2009~2010年度(石原年度)
2008~2009年度(加藤年度)

横山真喜男
小野内宣行
寺田孝司
藤井英樹
牟礼研吾

東洋理工
キャッチ
名古屋地方裁判所岡崎支部
安城更生病院
中央精機

日本デンマーク

かつて、小学校の社会の教科書には、安城を日本デンマークと記載されていました。明治用水による農地拡大を基にして、大正から昭和初期に発展した安城農業を呼んだものです。しかし、デンマークの農業は酪農が主体で、安城とは異なります。どこが農業国デンマークと似ているかという、農業の近代化をいち早く実行したことだそうです。近代化とは、米づくり一辺倒から、多角形農業に転換し、農産物の規格を揃え、商品名を付けて売り出したということです。例えば、安城梨、三河スイカ、丸碧の卵などで、今の言葉だとブランド化といえます

そして、この多角形農業という生産方式に、産業組合による共同販売方式がタイアップして、安城では近代的農業が発展しました。

また、安城では、それぞれの組織に優れたリーダーがいたことが、日本デンマークの名を高めることになりました。農業教育・人材育成に力を注ぎ、安城農林高校を日本有数の学校に育て上げて、農業行政にも尽力された初代校長の山崎延吉先生、農業試験場の岩槻信治さん、農会の岡田庄太郎さん、産業組合の岩瀬和市さんらの存在が大きかったそうです。

1. 明治用水による農地拡大
2. 多角形農業
3. 共同販売方式
4. 農業教育・人材育成



【3月のクラブ内例会・委員会予定】

- 14日 米山奨学生卓話 ニー・ニー・エイさん
21日 法定休日の為 例会お休み
28日 卓話担当 富岡里美さん テーマ「安城北斗、15年の歩み」

【4月のクラブ内例会・委員会予定】

- 4→6日 花見例会 12:30～岡崎ニューグランドホテル
11日 クラブフォーラム 雑誌委員会
* 定例理事会
18日 地区研修協議会報告
* 次年度クラブアッセンブリー
25日 卓話担当 外山勝美君 テーマ「銅ナゲット」

【3月の行事予定・地区会議】

- 8日 米山奨学生感謝の会 16:30～キャッスルプラザ 奥田カウンセラー ニー・ニー・エイさん 宮崎先生
川谷RC創立60周年記念式典 10:30～刈谷産業復興センター 神谷幹事
15日 会長エレクトセミナー 9:30～ウェスティンナゴヤキャッスル 永谷会長エレクト
22-23日 RYLA及び青少年委員会会議 美浜少年自然の家 市川君 奥田君
30日 2014-15年度地区研修・協議会のための指導者会議 名鉄グランドホテル 細井君 神谷幹事

【4月の行事予定・地区会議】

- 4日 次年度理事会 10:00～碧海信用金庫3F会議室(その後花見の下見)
10日 西尾KIRARARA合同ゴルフコンペ 東建多度CC
13日 地区研修協議会 11:30～受付 ウェスティンナゴヤキャッスル
25日 ローターリー財団情報交換会議 16:00～ガバナー事務所分室 神谷会計長

■ 幹事報告

神谷 研幹事

- ・本日18:00ファイヤーサイドミーティングを行います。対象者の方はご出席ください。
- ・4/6(日)12:30～お花見同伴例会を岡崎ニューグランドホテルにて行います。
JR安城駅立体駐車場南吉壁画前より11:30発のマイクロバスを用意いたしましたのでご利用下さい(28名)

■ 出席報告

近藤 裕保君

会員	60名
出席義務者	45名
出席	26名
欠席	19名
出席免除者の出席	13名
出席率	65.45%
修正出席率	2月21日 第2766回 85.71%

卓話者 愛知県立安城農林高等学校教頭 平松幸伸様 テーマ「愛知県立安城農林高等学校の学校紹介」

安城農林高校は、農業の専門高校です。農業高校は、全国に約370校あり、生徒は現在約9万人ですが年々減ってきています。愛知県には、10校の農業高校があります。県下3,900人のうち、安城農林高校には815人います。明治34年に開設され、112年の歴史があり、2万人の卒業生がいる伝統校です。

安城農林高校の校訓「礼節を正し廉恥を重んじ信義を尚ぶべし 国家社会に貢献せんことを廉幾ふものは勤労を以て身をならすべし 利を忘るべからずも尚之が為に他の迷惑を招くことあるべからず 共同一致が成功の基たるを覚知すべし 要は只誠意にあり」

またキャッチフレーズは、『自然に触れ、命を育てよう。環境、自然を感性を育てよう』です。

学校の規模は1.農場の面積 2.生産規模 で表現します。農場は学校の敷地内の他に足助・新城にあります。生産規模は、水田・・・米150万円、畑・・・野菜175万円、果樹園・・・180万円、温室・・・ミカン・トマト975万円、食品製造・・・ジャム・ケチャップ240万円などなど。他に畜産として、牛・・・1500万円、豚・・・450頭1500万円、鶏・・・800頭2700万円 合計3700万円。合計5600万円くらいの収入をあげている。これを県におさめて、そこから予算として学校に配分されている。5000万円を超えている高校は、九州にある畜産高校、岐阜の農林高校だけです。金額にこだわらず子どもたちが楽しめることをしたいけれど、するには予算がほしい。すると余裕がなくなる。という現実です。現在は、馬場があり、乗馬用の馬が6頭自前であります。

次に学習内容の説明をします。1.通学地域(123中学から入学している。県外はいないが、120校をこえる高校はほぼない。)最近名古屋地区から通学する生徒が多くなってきました。女子の比率が多い(6割強)

2.学科の構成、1学年6学科7クラスの編成。普通科目もあるが、専門学科なので専門的な授業が多い。

①農業科・・・生物生産コース、流通経済コース ②園芸科・・・果樹園芸コース、施設園芸コース ③生物工学科・・・草花デザインコース、植物バイオコース ④食品科学科・・・食品製造コース、食品分析コース ⑤森林環境科・・・環境緑化コース、森林利用コース ⑥動物科学科・・・動物生産利用コース、アニマルケアコースがあります。在学中に様々な資格をとり、卒業後は半分が就職、半分弱が進学です。

そして、安城農林高校の特色ある教育活動については 1.寮教育 2.国際教育 3.地域との交流 です。寮は、遠隔地者用と基本的な生活習慣を身につけるための寮があります。また、フランスに姉妹校があり中国には友好校があります。近隣の小学校の体験学習や地域のイベントに出展することで、地域の交流を深めています。

生徒の課外活動としては、生徒会部活動、農業クラブがあります。農業クラブは、生徒全員がクラブ員となり、日々の活動の中で各クラブ員の指導性、社会性、科学性を高めることを目標としています。各種競技会があり、発表の場があります。今年の校内プロジェクト発表会の研究テーマは「ブドウの高品質化と総合的経営」「野菜POWERトマトの魅力を知ろう」「酸素水・炭酸水添加培地の研究」「『あうまい』今、僕たちが欲しい液肥」「NEW苔マット宣言」「光の波長(色)が根を変える」です。企業と一緒に開発した商品もあり、生徒たちのモチベーションもあがります。

最後に、安城農林生は、生命と共に、自分の可能性を伸ばし、有意義な高校生活を送っています。ありがとうございました。

